

ASK ニュース

Vol.0221

2016年9月26日(月)

担当：MS事業部 太田

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

ベーシックインカム

はじめに

世界で初めてベーシックインカムの導入実験を決めていたフィンランドが、来年から導入実験を開始する事を決定しました。

そこで今回はベーシックインカムという制度について考えてみたいと思います。

ベーシックインカムとは

ベーシックインカムとは最低限所得保障制度の一つで、政府がすべての国民に生活をする上で最低限必要な額の現金を無条件で支給するという制度です。

ベーシックインカムは年金、雇用保険、生活保護などの社会保障制度を包括する制度として期待されています。

ベーシックインカムのメリット

ベーシックインカムには次のようなメリットがあると考えられています。

- ①生活保護のように厳しい給付基準がなく、援助が必要な人が排除されない。
- ②働いても受給額が減らないため、労働意欲を阻害しない。
- ③多岐にわたる社会保障制度を一本化するので、行政の無駄を削減できる。
- ④ベーシックインカムは生まれたばかりの子供にも支給されるため、その受給目的で子供を産む

人もおり、少子化対策になりうる。

⑤最低限の所得が保障されているため、貧困による犯罪の減少に繋がる。

このように書くと良いことばかりのようですが、未だにどこの国も導入していません。それはこの制度が劇薬である恐れがあるからです。

ベーシックインカムのデメリット

①強制労働

最低限の所得を保障すると働かない人も多く出てくるでしょう。しかしそれでは制度が維持できないので、国民に何かしらの就労義務が徹底されると考えられます。

②富裕層の海外流出

財源確保のために税率が高くなり、富裕層が海外に流出してしまう可能性があります。

③福祉水準の低下

ベーシックインカムは他の社会保障を打ち切ることを前提としています。そのため、健康状態等に応じた柔軟な対応はベーシックインカムでは困難とされています。

おわりに

もちろんフィンランド政府は上記のようなデメリットは分かっただけで、だからこそ慎重にそのメリットとデメリットを評価しようとしています。どのような結果になるかは分かりませんが、極めて興味深い社会実験ですので、その結果を楽しみに待ちましょう。